

ID(教育体系開発)手法を切る

2005.1.28 SEA新春フォーラム

池田 真司

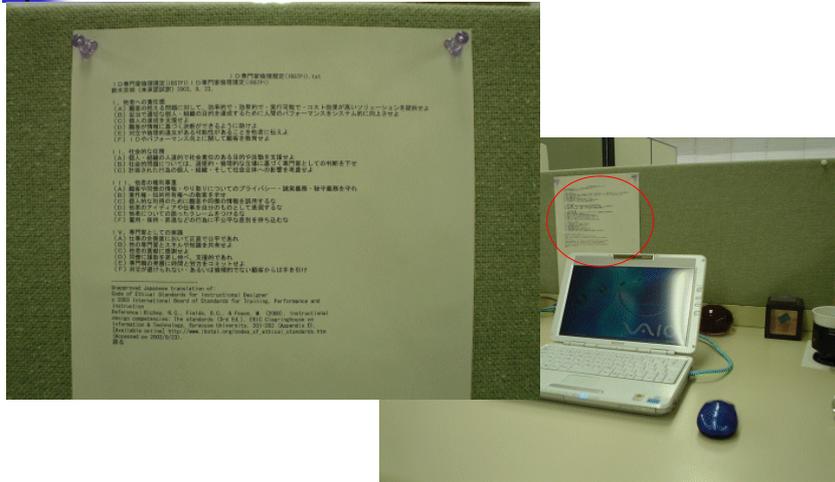
リコーテクノシステムズ株式会社
人材開発センター



自己紹介

- 所属:リコーテクノシステムズ(株)
人材開発センター eラーニング推進G
- IDとの係わり
 - ・1993～ サービス技術者教育に従事
 - ・1998 CRIに出会い、感動する
 - ・2000 IDに出会い、目からうろこが落ちる
 - ・2003 ELFに参加し、再び目からうろこが落ちる

座右の銘



Copyright ©2004 Ricoh technosystems Co.,Ltd

ID 専門家倫理規定 (IBSTPI)

鈴木克明 (未承認訳) 2003. 9. 23.

I. 他者への責任感

- (A) 顧客の抱える問題に対して、効率的で・効果的で・実行可能で・コスト効果が高いソリューションを提供せよ
- (B) 妥当で適切な個人・組織の目的を達成するために人間のパフォーマンスを系統的に向上させよ
- (C) 個人の達成を支援せよ
- (D) 顧客が情報に基づく決断ができるように助けよ
- (E) 対立や倫理的違反がある可能性があることを他者に伝えよ
- (F) ID やパフォーマンス向上に関して顧客を教育せよ

II. 社会的な任務

- (A) 個人・組織の人的で社会的責任のある目的や活動を支援せよ
- (B) 社会的問題については、道徳的・倫理的な立場に基づき専門家としての判断を下せ
- (C) 計画された行為の個人・組織・そして社会全体への影響を考慮せよ

III. 他者の権利尊重

- (A) 顧客や同僚の情報・やり取りについてのプライバシー・誠実義務・秘密義務を守れ
- (B) 著作権・知的所有権への敬意を示せ
- (C) 個人的な利得のために顧客や同僚の情報を誤用するな
- (D) 他者のアイデアや仕事を自分のものとして表現するな
- (E) 他者についての誤ったクレームをつけない
- (F) 雇用・保持・昇進などの行為に不公平な差別を持ち込むな

IV. 専門家としての実践

- (A) 仕事の全側面において正直で公平であれ
- (B) 他の専門家とスキルや知識を共有せよ
- (C) 他者の貢献に感謝せよ
- (D) 同僚に援助を差し伸べ、支援的であれ
- (E) 専門職の発展に時間と労力をコミットせよ
- (F) 対立が避けられない・あるいは倫理的でない顧客からは手を引け

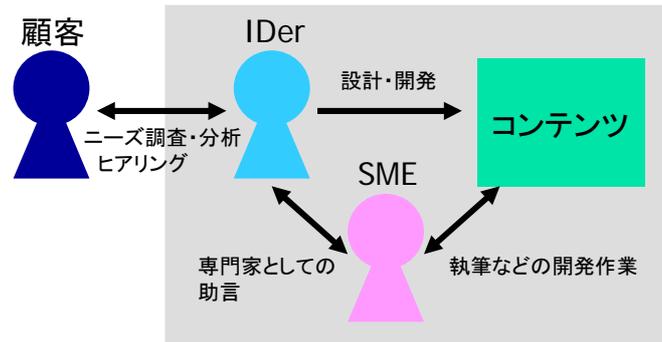
Unapproved Japanese translation of:
Code of Ethical Standards for Instructional Designer
© 2003 International Board of Standards for Training, Performance and Instruction
Reference: Richey, R.C., Fields, D.C., & Foxon, M. (2000). Instructional design competencies: The standards (3rd Ed.). ERIC Clearinghouse on Information & Technology, Syracuse University, 201-202 (Appendix D).
[Available online] http://www.ibstpi.org/codes_of_ethical_standards.htm
(Accessed on 2003/9/23).

Copyright ©2004 Ricoh technosystems Co.,Ltd

SME(主題専門家)

- SME (Subject Matter Expert)とID担当者は協力してコース設計、コンテンツの執筆などを行う。

<理想的な協力体制>

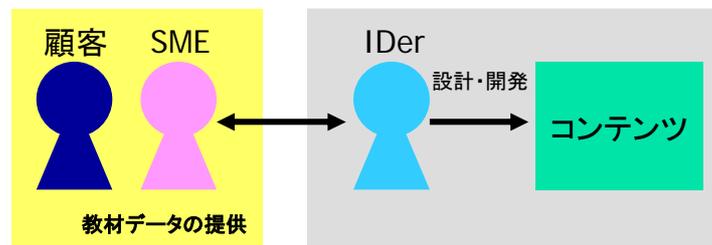


Copyright ©2004 Ricohtechsystems Co.,Ltd

SME ≠ 顧客

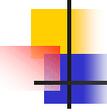
- ID担当者はSME(又はその上司)の意向を受けてコース設計、コンテンツの監修などを行う。

<現実の開発体制>



IDに基づいたコース企画・設計・開発は不可能(に近い)

Copyright ©2004 Ricohtechsystems Co.,Ltd

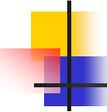


他者への責任感(1)

- Provide efficient, effective, workable, and cost-effective solutions to client problems.

顧客の抱える問題に対して、効率的で・効果的で・実行可能で・コスト効果が高いソリューションを提供せよ。(鈴木克明 2003. 9. 23.)

まず実行！ 効率、効果、コストなどは二の次



他者への責任感(2)

- Systematically improve human performance to accomplish valid and appropriate individual and organizational goals.

妥当で適切な個人・組織の目的を達成するために人間のパフォーマンスを系統的に向上させよ。(鈴木克明 2003. 9. 23.)

組織の目的がゴールであり
個人の目的、パフォーマンス向上は二の次

他者への責任感(3)

- Inform others of potential ethical violations and conflicts of interest.

対立や倫理的違反がある可能性があることを他者に伝えよ。

(鈴木克明 2003. 9. 23.)

対立や倫理的違反(の可能性あり)どころか日常茶飯事。

Copyright ©2004 Ricohtechsystems Co.,Ltd

専門家としての実践

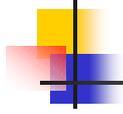
- Withdraw from clients who do not act ethically or when there is a conflict of interest.

対立が避けられない・あるいは倫理的でない顧客からは手を引け。

(鈴木克明 2003. 9. 23.)

論理的でない顧客(SME)から、手を引きたいが社内だから余計に無理。
IDの有用性を地道に訴え続けるしかない。

Copyright ©2004 Ricohtechsystems Co.,Ltd



RICOH
リコーテクノシステムズ株式会社

Copyright ©2004 Ricotechnosystems Co.,Ltd